

株式会社TOKAI ケーブルネットワーク 2024 年度番組審議会 議事録

開催日時 2024 年 12 月 5 日（木） 11 時 00 分～13 時 00 分

場所 グランディエールブケトーカイ 4 階 ワルツ

出席者 〈審議委員〉 下記審議委員 7 名中 5 名出席（2 名欠席）
大坪 壇 様 審議会会長（静岡産業大学総合研究所 所長）
曾根原 容子様 審議会副会長（沼津市） ご欠席
渡邊 英正 様（三島市）
勝間田 誠 様（御殿場市） ご欠席
青木 洋一 様（富士市）
古谷 光子 様（焼津市）
井上 幸代 様（藤枝市）

〈TOKAI ケーブルネットワーク〉

代表取締役社長 鈴木 光速
代表取締役専務 近藤 雄二
放送企画部部长 望月 隆宏
放送制作部部长 澤井 宏幸

- 次第
1. 開会挨拶 （代表取締役社長 鈴木 光速）
 2. 議事 1)2024 年度コミュニティチャンネルの取組み
2)審議番組視聴
「トコチャンワイド」
「ダムダムおじさん お宝探索隊」焼津市編
 3. 審議 （大坪会長）
 4. 閉会挨拶 （代表取締役専務 近藤 雄二）

開会挨拶：TOKAI ケーブルネットワーク 鈴木社長

ケーブルテレビ会社は全国約 500 社あり、ケーブル連盟という団体に所属している会社は約 320 社ある。その連盟の中で、上質な番組を作った、地域をうまく取り上げたなどという評価軸の「番組アワード」は今年が 50 回目。今業界のなかでも、昔に比べればコミチャンの制作力や質的な面は各社みんな向上しているが、コミチャンが今後どういう位置づけでいるのが良いのか、今まで通りで良いのかなど、業界でいろいろ議論している。我々と

しては、番組を放送するといっても一方的になるものなので、今後は見ていただく地域の皆様に番組に参加していただく「参加するテレビ」など、色々機軸を持ちながらやっていきたい。

ぜひ今日は審議していただく 2 番組をご覧いただき、ご講評をいただくのと「今後こうしていったほうがいい」といったご意見を皆さんからいただければ大変ありがたいと思っている。

審議番組：「トコチャンワイド」約 26 分視聴

「ダムダムおじさん お宝探索隊」約 30 分視聴

番組概要：

【トコチャンワイド】

沼津・藤枝スタジオから平日毎日 12 時から 60 分生放送。再放送も 1 日 4 回実施。地域に密着したケーブルテレビならではの取材ネタ、より地元に関心した情報をお届け。

今回視聴・審議していただくのは 11 月 18 日(月)沼津スタジオより、11 月 19 日(火)藤枝スタジオから生放送したもので、オープニングから毎日 4 本ずつ放送しているニュースまでのもの。

【ダムダムおじさん お宝探索隊】

ダムダムおじさんとロザリオクロスの七々瀬結理が、特定の地域に長期間密着し、地域の方たちと連携して一緒に街を盛り上げていく番組。2024 年 5 月放送回から、「焼津商店街」に密着中。エリアが 17 行政と広く、より地域に貢献したいという思いから作った番組。最終的には番組だけにとらわれず YouTube でも公開し、全市の商店街の映像を残したいと考えている。

番組審議委員のご意見、ご要望

(大坪会長)

審議番組両方ともご発言いただいて結構ですので、番組に対して放送局に対して何か助言があったら厳しいことも言ってあげたほうがいい。時々見逃して間違えることもある。そのためにある審議会ですから、ぜひご意見をお願いします。

(井上委員)

・コロナが明けイベントが復活したりして「トコチャンワイド」でもイベントや取り組みの盛り上がりが見えたのが、すごく見ている人が元気になるような内容であったと思った。

・違う分野のこともたくさん紹介してくれ、そのいろんな地域のことをバラエティー豊かに、見ることができる素晴らしい番組だなと思った。

・“地域密着”ということで、静岡の魅力を発信していくのに YouTube を活用したり、世界に向けて県内だけでなく海外に向けて、「ものづくりしずおか」の紹介があったらいいと思った。

・「ダムダムおじさんお宝探索隊」については、昔ながらのイベントや、ダムダムおじさんと地域の人たちのやり取りがとても面白く、笑ってしまう場面もあった。

・一般の方も楽しく面白く紹介していて、それが下品ではなく温かみのある幸せな番組だなと思った。すごく変わってきているというのが実感できる番組だったのではないかなと思った。

(古谷委員)

・「トコチャンワイド」は、アナウンサーの植田さんがものすごく上手だなと思った。耳なじみがよく、話していることがよく分かり、聞きやすく、いつも「トコチャンワイド」を見る度にいいな、と思っている。同じくアナウンサーの白井さんについても、とても良くなってきた。

・ニュース後、アナウンサー同士のやり取りで、ニュースの感想だけでなく、そのニュースに付随した新しい情報を盛り込んでいる点がすごく良かった。よく取材しているなと感心した。

・「ダムダムおじさんお宝探索隊」については、吉原商店街編の時も楽しく拝見していた。吉原の時も「あ！行きたいな」と思いましたし、焼津は地元だが、地元でありながらこんなに楽しく思わず笑みがこぼれてしまうような、そんな風に作っている。

・出演者のロザリオクロスの七々瀬さんがすごく良い。盛り上げ効果を上げてくれていて、彼女の存在がとても大きいと思う。先ほど番組説明の話の中で、「地域に密着してブランドバリューをあげる」という話があったが、まさにその成功例だなと思う。

・私も働いているので、番組を見たい時に見れるわけではない。「トコチャンワイド」はストーリーリングをやっている時に時間が合えば見ることができる。ダムダムおじさんの「部活探訪」も好きだが、テレビをつけたときに、やっていたら見ることができる。この間、藤枝明誠のチアリーディング部も「見たいな」と思ってストーリーリングを探したけれどもなかった。後は YouTube と思ったけれど、YouTube も（動画のアップが）遅いので前の回しか見ることができない。もう少しストーリーリングを増やしたり、YouTube を早くあげてほしいなと思う。

・Instagram も見ているが、フォロワーが少ない。たしかに（釣り番組出演の）三浦愛さん

はフォロワーが多いが、「しずゆる（亮と優のしずおかをゆる〜く走りませんか?）」にしても少ない。フォロワーをもっと増やしたほうがいいと思う。

（青木委員）

・トコチャンワイドは、（ニュースで紹介した）桐陽高校の練習風景やグラウンドの設備なども流してくれればイメージが湧きやすいなと思った。また、ニュース後アナウンサー2人が深掘りの話をしている時も、動画や写真などを流してあげたらいいと思った。

・手元の原稿が見えていて、原稿に目が行ってしまったので、手元を隠すものがあっていいと感じた。

・「ダムダムおじさんお宝探索隊」について、“地域ド密着”が浸透しているのが分かる。吉原商店街編の時もそうだったが、何度も足を運んでいるから、今回登場した「ぎんちゃん」のような関係性が垣間見えてよかった。

・（出演した）一般市民の方が“活性化”という言葉を使っていた。地域のことを発信しようというのが一般市民にも伝わっていて、「私らもそのためにテレビに出ているの」くらいの感覚があったのかなと思った。

・かるたについては、ぜひ（かるたの）内容を1つ2つ聞きたいなと思った。メガホンで喋っていた内容も、テロップを入れてくれればいいと思った。

・（委員が営業する会社の）スタッフと話していたが、「野球はいいよね」や「野球のために入ろうと思う」と言っているスタッフがいる。スポーツを撮って編集して隙間時間で流すなど、スポーツを色々試みてもらって、撮りやすい・編集しやすい・手間のかからないところから手をつけていくのも1つの手かなと思った。

（渡辺委員）

・見ていて、数年前から比べると数段わかりやすい内容になっていると思う。

・「トコチャンワイド」は、どれだけニュースを拾えるか。キー局の民放はどこも同じニュースで偏ってしまうけど、地域のニュースはTOKAIでしか見られない番組ができていると思う。

・「ダムダムおじさんお宝探索隊」は、コロナがあけてから街に人が急速に戻っていて、色々なイベントが各地で行われている。すべて出すことはできないと思うが、アンテナを高くして番組にしてもらえたらいいと思う。特に子供が出る番組というのは、親が見たいので新規契約につながるかもしれないし、とにかくアイデアを出して増やしてほしい。

(大坪会長)

・「トコチャンワイド」をずっと見ていて、良くなったと思うのは、画面づくりが良くなった。昔はちょっと田舎のテレビ局感があったが、画面作りが向上して他の地域番組に負けないくらいになってきたんじゃないかと思う。それらの番組の中でも一番、リーダーになれるくらいの取り組みをしたほうがいいのではないかなと思う。

・将来リーダーになるには、何か世界一のものを目指さないとダメ。レベルが上がっているのに、日本だけのレベルだけでは当たり前になってきてしまっている。やっぱり世界的なレベルに。例えば静岡には世界一の富士山があり、ものすごい人がいっぱいいて、三島駅には駅を降りると多くの外国人がいて、日本語が通じないと思う。世界一は焼津でも藤枝でもいろんなところでできないかな、と思う。

・地域メディアはどういう意味があるかというのを考えたが、1つは地域の人たちのニュースを取り上げて、みなさんに知ってもらうこと。もう1つは、焼津の今日の番組のように地域の人を元気にする。これが大きな役割。テレビあるいは新聞に出ると不思議なことにみんな元気がでる。それを上手にやって地域を元気づける、という役割をほかのケーブル局にも増してやってほしい。

・今後、間違いなく「高齢化社会」になる。来年2025年、団塊世代みんな高齢化する。高齢者を対象にした視点でやっていくといい。例えば、“健康”。「膝が痛いのはこうやって治す」だとか、「頭が痛いときはどうしたらいいか」など、作りにくいかもしれないが、高齢者は関心がある。もう1つ高齢者が直面しているのは所得。高齢者になる前にどうやって投資をしていくか。NISAがあるが、そういう番組は難しいがやってみる方法はあると思う。

・今回の審議番組にはなかったが、人が働く場所がこんなところにあるという番組がほしい。こんなところで働けます、というのを社会に提供すれば喜ばれるし、メディアの役割かなと思っている。

閉会挨拶：TOKAI ケーブルネットワーク 近藤専務

ここに座らせていただき6年目になる。最初から比べると、大分お褒めの言葉をいただき、番組も見れる内容になってきたかなと思う。ここにある「チャンネルガイド誌」に掲載している番組が当社の「トコチャンワイド」を除く看板かなと思っていて、数えたら私がきた時は2つしかなかったもので、そういった意味でも少しずつ良くなっているのかなと思う。

せっかく番組を作ったらみんなに見てもらおうということで、プロモーションをしっかりやろう・編成をしっかりやろうとやっていて、KPIとして「接触率」を5~6年とっている。今年から今までと違う方法でデータを取得している。今うちのエリアのデータが2万件あり、分析している。逆に怖いことがあり、テレビが見られていないのが分かった。これからは見ていない方々にどう訴求していくかということを考えなきゃいけない。今日はあえて「ダムダムおじさんお宝探索隊」をぶつけてみた。こうした取り組みが、コミチャンを

通じて地域の存在感であったり、そういうものを見せる一番の手段かなと思う。例えばこの「月刊トコチャン」（地域情報誌）は街置き冊子で、ケーブルテレビの加入・未加入に関わらず手に取っていただけるということで、テレビを見ていない方にどう訴求していくかというのをこれから考えていかなければならない。

これからますます“テレビ離れ”が進んでいくと思うが、うちの20代の息子2人もほとんどテレビを見ない。お昼にご飯を食べているときに、iPhoneでYouTubeを見ている。そういう人たちが大人になった時にどういう風になっていくのか、ケーブルテレビ・コミュニティーチャンネルは何をしていかなければならないのかという考えでやっていますので、今日も厳しい意見をいただきましたが、もっと「こうしたらいいな」などありましたら話を聞かせていただければと思う。

引き続きよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

以上